

財団法人ダム水源地環境整備センター 情報セキュリティポリシー

財団法人ダム水源地環境整備センター（以下「当センター」という。）は、業務上扱う情報を適切に運用・管理することを目的に、情報セキュリティポリシーを定めます。

(1) 情報の適切な運用と管理

当センターは、関係法令等を遵守し、事業活動において扱う様々な情報を、高い信頼性で適切に運用・管理し、外的及び内的なリスクから情報を保護します。

(2) 情報セキュリティ体制

当センターは、情報セキュリティ対策に関する基準及び責任者を定め、情報セキュリティ対策の運用体制を確立します。

(3) 業務従事者の責務

当センターの情報を扱うすべての業務従事者は、情報リスクの重大性及び情報セキュリティの重要性について十分認識し、日常の業務活動に当たります。

(4) 情報セキュリティ教育

当センターは、情報環境の変化に対応できるように、当センターの情報を扱うすべての業務従事者に対して情報セキュリティ教育を実施し、情報セキュリティ対策に対する意識の維持及び向上を図ります。

(5) 外部委託先に関する情報管理

当センターが業務を外部に委託するときは、情報の安全管理が図られるよう適切な措置を講じます。

(6) 事故予防と対応

当センターは、情報の運用・管理に関する事故の予防に努めるとともに、万一、事故が発生した場合には、影響を最小限に留めるように対処するとともに、再発防止策を含む適切な対策を速やかに講じます。

平成19年10月 1日

財団法人ダム水源地環境整備センター

理事長 渡邊和足